

## 1 ワークショップの感想

【参加者】

	参加者
とても良かった	6
良かった	4
あまり良くなかった	0
まったく良くなかった	0
どちらともいえない	0
無回答	0

## 2 本日の感想

色々な意見が聞けて良かったです。
幕別町はオリンピック選手と関われる機会が多いと思いました。小学生と中学生で色々考え方が違うんだなと思
スポーツをする・見る・応援する、色々な見方があると感心しました。
これからの時代、デジタルもアナログも多極化していく中で方向性を出していくというのは、これが正解と結論が出ないテーマだが、いろいろな立場でいろいろな意見交換ができて、積極的な話し合いで自分の考え方も見直せて財産になります。傍聴の方が多くて、びっくりです。
有意義な意見が多いと感じ、自分の考え方が変わったりした。
オリンピックについての関心が中学生でかなり低くなっていることがとても印象的でした。体力をつけることを目標とするのであれば、加入制ではなく、その日で集まった人でやるような活動があっても良いと思いました。
1回目よりも2回目の方が1人1人が具体的に幕別とスポーツ、オリンピックの町・・・ということ意識した意見が出ていた。また、現状の”子供達”とスポーツについて知ることができた。
今回もいろんな立場の考えを聞くことができた。みんなが同じ方向を向いて、同じ考えではないことに感動している。刺激がある。6回目までどんなアイデアが出てくるのかが本当に楽しみ。
これからの展開が楽しみです。
子どもにスポーツの興味を持たすこと

## 3 今後のワークショップに向けての要望

開始時間をもう少し早めてほしい
次回のワークショップでは障がい者向けスポーツは何があるのか等の資料がほしい。

【傍聴者】

## 1 属性

	男性	女性	計
町民	2	1	3
議員	0	1	1
報道	0	0	0
職員	5	2	7
その他	5	1	6
計	12	5	17

## 2 年齢

	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	0	1	1
30代	4	0	4
40代	5	2	7
50代	2	0	2
60代	1	2	3
70代以上	0	0	0

## 3 傍聴回数

1回目	12
2回目	5

## 4 ワークショップを知った動機(複数回答)

ホームページ	5
新聞	1
知人から	9
その他	5

## 5 傍聴した理由

何か新しい発見ができるのではないか?と思ったため。参加者の集約の方法に興味を持ち、どんな意見など出されるのか気になったため。
取組を参考にしたい。(行政の会議やワークショップなど)
無作為抽出で選ばれたメンバーによるワークショップに興味があったから
今一番幕別の特色であるので、ざっくばらんな考えが聞けると考えたため
知人が近くで来るということで
コーディネーターが知人であり、本別出身だから
「自分ごと」として考えるきっかけや、上手に行う方法を知りたい。
町の人が今回のワークショップを通して、何を期待しているのか、どんな町づくりをしたいのか、前回から続きが気になりました。
無作為抽出の委員による議論に興味があったから
町民と考える場に興味があった
過去に他市町で開催されたワークショップを見たことがあり、興味があったから
知人に誘われた
無作為抽出のワークショップを見たかったから
内容に関心があったから。(指導者・ファシリテーターを学ぶ立場・行政側として)
無作為に選ばれた住民によるワークショップに関心があったから
「スポーツ・運動」をコンテンツとしながらも、「オリンピックの町」が「遊び・食・健康」などいろいろな分野で活用できるため(参考にしたいから)
いろいろな意見を聞くことができるので

## 6 ワークショップの感想

	参加者
非常に良かった	3
良かった	13
悪かった	0
非常に悪かった	0
どちらともいえない	1
その他	0

## ●非常に良かった理由

改善提案シートの作り方が勉強になった。伊藤さんの進行がすごい。  
町民の方が想像以上に活発に発言されていて、ある種の発見だった。コーディネーターの回しが上手というのがあるが。

## ●良かった理由

自分の目線では気づいてなかった話、普通や当たり前と覚えることが当たり前ではなかった十勝や幕別らしいことだったことに気付かされた。  
導き出される結論が気になるが、これをどう町全体のものにしていくか、どう合意形成していくか、次のステージでの進め方を知りたい。  
普段、運動(オリンピック)に興味がある人以外も、それぞれの立場で考え、意見を出し合う手法はまちづくりを自分ごととして捉える位階になり、とても良いと思った。  
町民の意見が聞けたことも良かったが、地元紙のスポーツ欄が大きいという話は目から鱗で、外から出ないとわからない視点だと思った。  
初めて参加でわかりませんが、頑張ってください。  
参加している人は「自分ごと」にできているが、それが広がりそうな気配がない。触媒が不足している。  
前回の話題を生かして、学力分析や体力分析のデータを見ながら、子どものスポーツや運動に取り組む支援を考えられたのが良かった。しかし、少し長かった。  
キーワードの取り上げ方がとてもよかった。  
スタートの議論の絞り方、焦点の当て方がもう少しと感じた。(少しスタートがぼやけてかと思う。)  
オブザーバーも発言するのが良かった。  
キーワードをもう少し深めた議論が聞けると良かった。町民参加者の意見を聞く場として、とても貴重だった。  
こうした会議で、普段の顔ぶれではない町民の生の声を聴くことができた。  
スポーツをするだけでなく、「見る・応援する・支える」のための環境づくりと支援体制を構築するきっかけになると思う。

## 7 その他意見

女性が多いことに驚きました。まだ2回目ですからもっとトークが進めば、もっといろんな声が出てくる気がします。後半、みなさん慣れたのかなごやかに話しているのがよかったです。年代もバラバラなので、最終形がどうなるのか楽しみです。  
1回目に来ていないので、なぜこの手法を取ったのか知りたい。  
最終的にどのような結論にたどり着くのか非常に興味がある。  
黒板の赤字が見えづらい  
発言者の声が小さくて聞きづらい。マイクを使用しては。  
子どもの運動で、「親の負担」などが始め拳がり、盛り上がりましたが、そもそも子どもの少年団に入る以上に楽しいことや、もっと親に褒められること(=勉強)があるのでしないということがあるみたいです。(スポーツや恋愛)そんな話も議論があればと思いました。  
町民のみなさんの多様な意見が参考になる。「子ども」を中心においた議論が良かった。これがまちづくりですね。  
若干、構成員の方の声が小さく、聞き取りにくいかなと感じた。  
自分の町とのワークショップの雰囲気違って良かった。  
スポーツに興味を持ち、打ち込めるようになる環境づくりの一つとして、幼児期の「遊び」(消費遊びではなく、五感を使った遊び)が大切だと思っています。幼児期に体力をつけて、下地づくりをし、小学生のスポーツにつなげる取り組みも(体を使って遊べない子が多い。)  
委員の発言が若干聞きづらい  
スポーツや運動を楽しめる、興味を持つ土台を町全体で作れるとよい。